

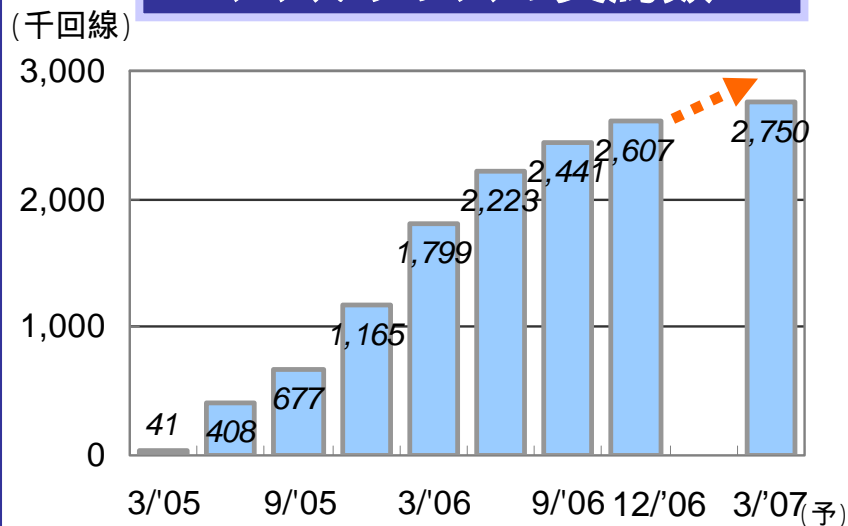
1. メタルプラス

メタルプラスの12月末の累計開通回線数は261万に増加し、音声サービスの売上も好転。

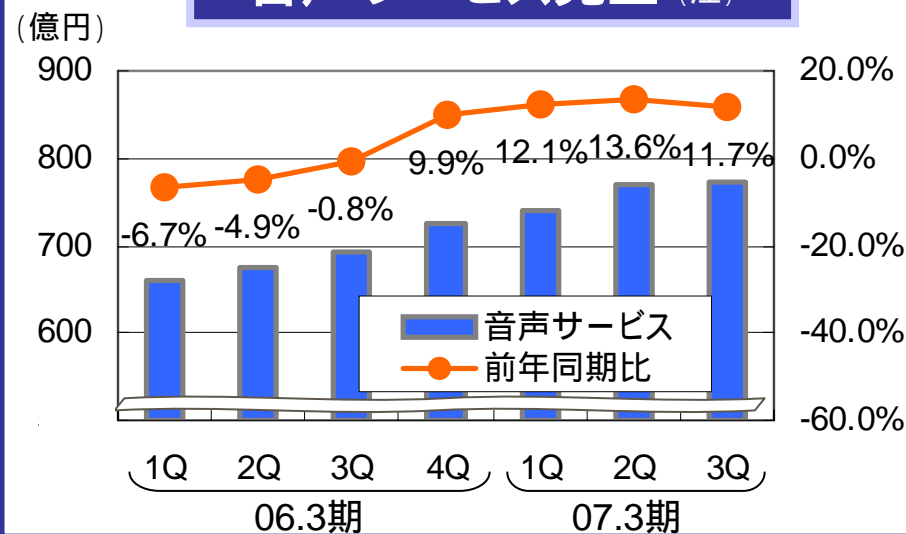
メタルプラスは08.3期には予定通り通期ベースで黒字化予定。



メタルプラスの契約数



音声サービス売上 (注)



(注) KDDI単体ベース

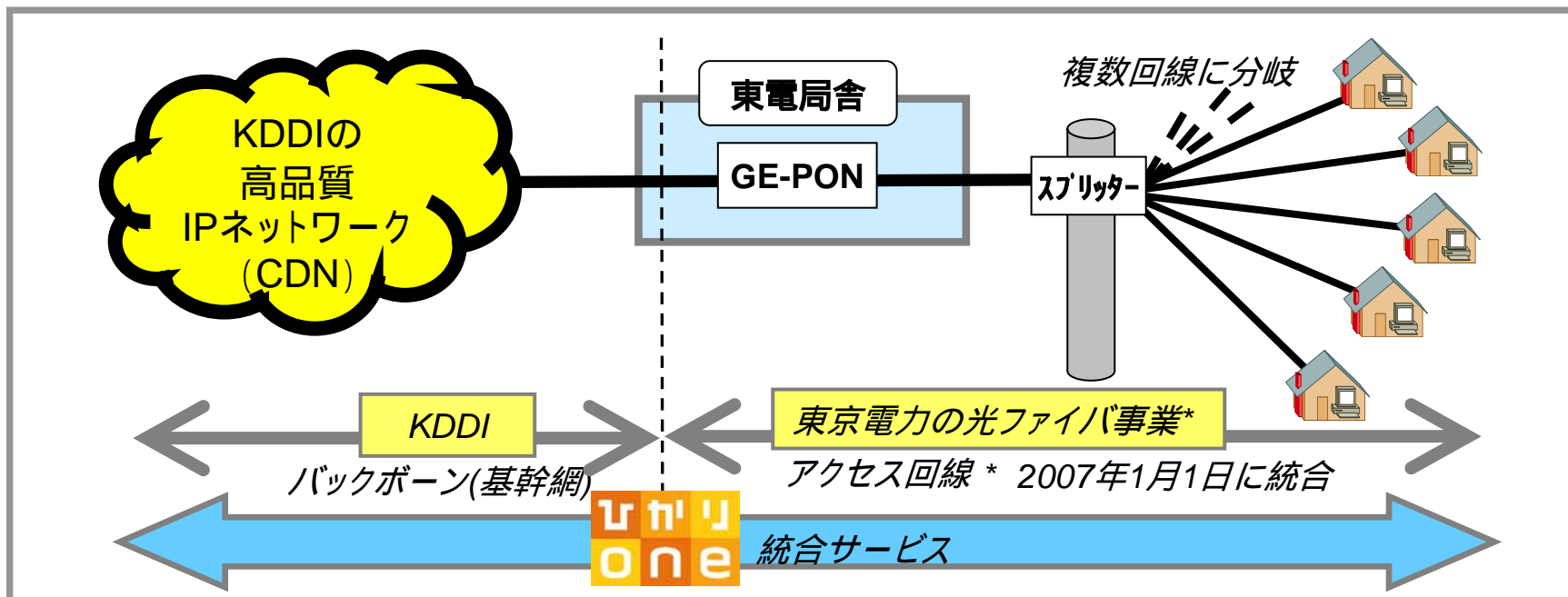
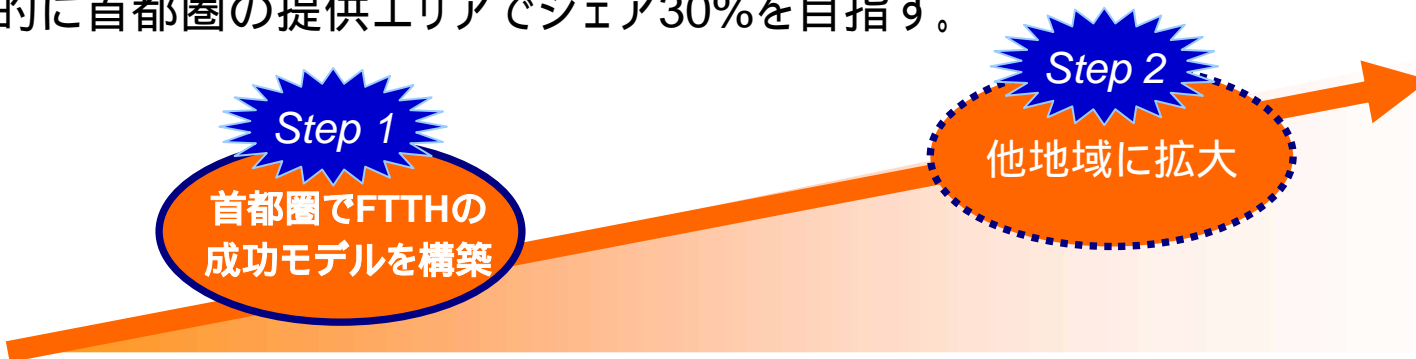
メタルプラスの営業利益イメージ



2. FTTHの取り組み(1)



「KDDI光プラス」を「ひかりone」に名称変更し、2006年6月より新ブランドの下、東京電力とのFTTH統合サービスを開始。東京電力のFTTH事業の統合を完了(2007年1月1日付け)。中長期的に首都圏の提供エリアでシェア30%を目指す。



事業統合による効果

- FTTH事業基盤の強化、回線数:56万
 ・うちKDDI:22万、東電:34万(06.12末)
- 光アクセス網の自前化により、各エリアの需要に合わせて柔軟にエリア展開ができるため、効率的・機動的な事業展開が可能
- 電力線通信(PLC)への取り組み

(注)東電はTEPCOひかり回線のみ。

現在の取り組み状況

- 営業面:
 - ・販路の拡大
 - ・ISPの拡大:7社(06.12末)
- 統合後の体制(インフラ面):
 - ・建設統轄本部内に建設・保守業務の一元体制を構築するとともに、スムーズな作業体制を確立すべく、東京電力とのJVを設立。

事業統合の影響(4Q)

売上高	: 約	30億円
営業費用	: 約	120億円
		(うちのれん償却*: 約 20億円)
営業利益	: 約	90億円

(注)のれん相当額の見込みは約550億円(7年償却予定)。

3. 固定通信事業の業績見通し

08.3期にはFTTHを除く固定通信事業全体で、黒字化見込み。

FTTHを含めた固定通信事業全体では、1月1日付けの東京電力のFTTH事業統合を含めても、営業赤字は06.3期が底の予定。

